

やまざとの風

～心を込めた「あいさつ」「校歌」 輝く「笑顔」～

山里中学校だより

2024. 4. 16 号②

文責 小森



令和6年度 入学式

4月9日(火)、山里中学校「入学式」を挙行了しました。新しいデザインの制服に身を包み、緊張しながらも中学生になったという喜びを胸に、179名が入学しました。

本田勇人校長先生は「式辞」の中で次のことを述べられました。

～ 入学式 式辞 ～



179名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは、今日から長崎市立山里中学校の生徒です。この学校の3年生、2年生、そして、先生方も、皆さんの入学を楽しみに待っていました。新しくなった山里中学校の制服、先輩方が熱心に話し合いをして作り上げた新しい制服に身を包んだ皆さんの入場の時には、3、2年生の先輩たちが、力強く、そして、心をこめた盛大な歌声で迎えてくれました。先輩たちは、皆さんと一緒に過ごす山里中学校での生活を心から楽しみにしているのです。

本校は、「平和は山里から 日常の平和から」を合言葉として、毎日生活をしていきます。山里中学校は、原爆落下中心地に最も近くにある中学校です。そこに生まれ、生活するものの責任として、常に平和を求め、新たな「平和への学び」を積み重ね、これからの平和をつくっていくことが求められていると考えています。皆さんも、小学校6年間の平和学習を通して、平和への思いを確かなものになっているものと思います。小学校での学習を基本としながら、中学校ではさらに、これからの平和について一緒に考えて行きましょう。

さて、新入生の保護者の皆さま。お子様の中学校へのご入学、誠におめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。私たち教職員一同、大切なお子様をお預かりするという大きな責任を果たすため、全力を挙げて努力する決意でございます。

山里中学校では、これまで、コロナ禍後の新たな時代に、力強く前に、前進していくために、先生方と生徒のみんなで工夫をしながら、取組を推進してきました。特に、4月からは、山里中学校では、これまでの各学級に一人の「学級担任」を固定する「学級担任制」から、学年職員が「チーム」として、子どもたち一人一人の成長を促す「チーム担任制」を採用することとしました。「チーム担任制」のめざすところは、これまで以上に子どもたちの声を学校づくりに生かしながら、よりよい学校にしていくという「子どもたちによる学校づくり」を推進することと、学年所属職員が、ローテーションを組んで、担当する学級という枠を超えて、学年全ての学級において、指導や支援を行いながら子どもたち一人一人との関係づくりを進めていくという「多くの大人の関わりにより、子どもたち一人一人の『人』としての成長を進めていく」ことです。新たな取組の最初の年になりますので、保護者の皆様からいろいろなご意見をいただきながら、進めてまいりたいと思いますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、新入生の皆さん。山里中学校の新たな取組として、皆さんの学級の、学級担任の先生を一人に固定せずに、学年所属の先生方と一緒に、「皆さんの手による学校づくり」がはじまります。そこで、「皆さんの手による学校づくり」を通して「皆さん一人一人が人としての大きな成長を果たす」ために、私からは、二つのお願いしたいと思います。

まず一つ目は、皆さん一人一人が、多くの仲間の「存在」を認め、身近にいる仲間を支えてほしいということです。学級の皆さん全員で、いろいろなことを成し遂げていくためには、何とんでも、一人一人の力をまとめ、結集していくことが大切です。そこで、まず必要なことは「仲間の存在を認めてあげること」、「自分の身近にいる人を支えてあげること」

がとても大切なこととなりますので、「認め合うこと」「支え合う」を通して、学級の力をまとめていってほしいと思います。

二つ目は、みんなで何かを決めていくにあたり、学級の全員が「ほど良い」状況、「よい加減」の状況にして、進めていってほしいということです。学級としての意見をまとめていく時に、全員の意見を完全に一致させることには困難な状況があります。そこで、大切なことは、学級のみならず、おおむね納得できる状況、「ほどよいということ」「よい加減であることを探し出すこと」です。そのことが、学級のみならず心を合わせて前に進むことにつながります。「相手を認め、支えていくこと」「みんながほどよく、よい加減であること」。そのことを意識しながら、先生方と一緒に「皆さんの手による学校づくり」を進め、山里中学校をさらに、前に、前進させていきましょう。

終わりにりましたが、本日は、PTA会長野田直哉様、中学校区の三つの小学校の校長先生方、地域の皆様方には、新入生の中学校生活のスタートを見守っていただきました。ご多用の中、ご臨席を賜り誠にありがとうございます。

高い席からではございますが衷心より厚くお礼申し上げます。

これからの教育実践には、地域の方々やPTA、そして小学校との連携を欠いては、学校運営は成り立たないと考えております。今後とも、本校生徒のために、これまで以上に連携・協力体制を確固なものとしていくこと、そして、本校教育活動にお力添えくださいますようお願い申し上げます、式辞といたします。

令和6年4月9日 長崎市立山里中学校長 本田 勇人

「お祝いの言葉」PTA 会長 野田直哉 様



小学校の頃のように、親や先生に言われて行動するのではなく、自ら考え、物事の良いこと悪いことの見極めができる判断力を身に付けられるように成長し、山里中学校の信条や生徒像にあるように、自主性を育み、お互い助け合って充実した学校生活となるよう努力していきましょう。ただ、いきなり最初から全部を完璧にこなすことはできないと思います。心配はいりません、最初から100点満点を目指す必要はありません。人は誰しも失敗し、その失敗を活かして成長していくのです。今日はあまりうまくできなかったなと感じていても、それを次に生かす努力、工夫をしていくことが大事になってきます。それに、やる前から見えている部分があれば、やってみないと見えてこない部分もたくさんあります。成功ばかりにとらわれず、そして失敗をおそれることなく、いろんなことにチャレンジしてみてください。チャレンジした中で体験した成功や失敗もすべて自身の成長につながり、3年後にたくましく成長した姿をお父さん、お母さんに見せられるように頑張ってください。

「歓迎の言葉」在校生代表 荒木良太さん

先輩として皆さんに、3つのアドバイスを送らせてください。

一つ目「平和について真剣に考えること」、二つ目「周りを見て自分から行動すること」、三つ目「気持ちの良いあいさつをすること」以上の三つのことを心に留めて行動することができれば、山里中学校での生活を充実させることができると思います。

今年の山中生は、一人一人の個性を生きて、それぞれが輝き、誰もが主役になれる学校にすることを目標にしています。「自分が自分の人生の主人公である」、そのことを多くの人は忘れてしまいがちです。中学校3年間の主人公は皆さん一人一人です。皆さん一人一人が、一人の主人公として積極的に行動してくれることを楽しみにしています。



「新入生誓いの言葉」新入生代表 木許允仁さん



これから始まる中学校生活は、私たちにとって、大きな転機となります。数学や英語などの新しい学習を含む中学校の学習、仲間や先輩方と多くの時間を過ごす部活動、これまで経験したことのない学校行事などに全力で取り組み、様々な経験を通して自分の可能性を伸ばし、3年間で大きく成長したいと思います。

そして何より、この山里中学校で、たくさんの人たちと出会えることを楽しみにしています。もちろん、周りの人に迷惑をかけることや、うまくいかないこと、友だち関係に悩むこともあると思いますが、その一つ一つを学びに変えて、乗り越えていきたいと思っています。